

1 研究主題

ふるさと檜山に誇りをもち、自己実現に向けて未来を切り拓く児童生徒の育成
～ 社会に開かれた教育課程の実現を目指し、地域とともに歩む学校づくりの推進 ～

2 研究推進の概要

(1) 小中合同の研究推進

○檜山校長会教育研究上ノ国大会（令和7年10月3日・4日 上ノ国町）

提言「学校経営」：上ノ国町校長会 「教育課題」：今金町校長会

- ・小中合同での研究は3カ年計画とし、研究分野を「学校経営」「教育課題」の2分野で進め、各町校長会が組織的・継続的な共同研究を推進し、檜山校長会教育研究上ノ国大会をその成果発表の場とし、提言を行うことができた。

(2) 中学校部会の研究推進

①第1回中学校部会（4月11日） ・役員を選出、今年度の研修計画作成

②第2回中学校部会（7月11日） ・協議、情報交流

③第3回中学校部会（10月4日） ・協議、情報交流

④第4回中学校部会（1月13日） ・協議、情報交流

- ・管内10校の中学校長での研究は、令和9年度全日本中学校長会研究協議会東京大会に向けた以下の研究主題のもと、プロジェクトを組み、道徳教育を中心に実施した。

○檜山校長会中学校部会プロジェクト研究主題

「学校や地域等が抱える課題に応じた道徳教育の推進」

(3) 中高合同の研究推進

○檜山管内中学校・高等学校連絡協議会研究大会（令和7年11月4日 厚沢部町）

経営部会提言：乙部町立乙部中学校長 桜庭 一 宏 校長

提言内容：「不登校対策総合実践事業の取組について」

- ・管内全中高での研究として、中学校からは、乙部中学校 桜庭校長が自校で指定を受けて取組を進めている内容を提言した。助言者から、以下のような助言をいただいた。

○職員全体でかかわることが大切である。 ○みんなで温かい場を作ることが大切である。

○未然防止が重要であり、見守るための管理職の我慢も必要である。

3 研究の成果と課題

- (1) 檜山校長会教育研究上ノ国大会では、2日間にわたり会同しての協議・情報交流を行うことができ、会員が「学校経営」と「教育課題」について意見を交わすとともに、教育懇談会を実施し、非常に有意義な研修と交流を行うことができた。

- (2) 檜山校長会中学校部会では、「学校や地域等が抱える課題に応じた道徳教育の推進」に向け、管内全中学校でアンケートを実施、分析を行った。管内の道徳教育の実践レベルが非常に高く、「考え、議論する道徳」を軸とした一定レベルの授業実践ができていることが示された。

- (3) 檜山管内中学校・高等学校連絡協議会研究大会経営部会では、中高会同で開催し、提言をもとに、地域の未来を支える生徒の育成や不登校対策の充実を目指す学校経営等について、提言をもとに学校間交流を実施することができた。

1 研究主題

ふるさと檜山に誇りをもち、自己実現に向けて未来を切り拓く児童生徒の育成
～多様な子供たちを包摂する教育課程を編成し、地域とともに歩む学校づくりの推進～

2 研究主題設定の趣旨

今日のグローバル化は我々の社会に多様性をもたらし、また、生成AIをはじめとするデジタル技術の急速な進展は人間生活を質的にも変化させている。また、国際情勢の不確実性、気候変動に伴う自然災害の激甚化、少子高齢化の一層の進行等の厳しい課題や先行きの不透明感に包まれている。このような予測困難な社会を主体的に生きるためには、変化に適応する能力だけではなく、変化の中から新たな価値を創造し、多様な他者と協働しながら課題を発見・解決できる「持続可能な社会の創り手」としての資質・能力の育成が求められている。こうした状況の中、檜山校長会は、実践に基づく教育研究と交流活動を通して大きな成果を上げ、管内教育の充実、発展に寄与してきた。

矢継ぎ早の教育改革の下、次代を担う子どもを育てる新しい教育の在り方が問われ続けている昨今、それらの課題に真摯に応えるための取組を継続していくことが校長としての責務と考える。

これらを踏まえ、夢や希望を持ち、自分の中の可能性を見つけて地域と携わりながら社会の中で活躍することができる子どもを育むため、学校経営の責任者としての立場から日々真摯な研究を重ね、学校経営に活かし、新しい課題に応える教育の推進に努めなければならないと考え、本主題を設定したものである。

3 研究内容

(1) 小中合同の研究推進

令和8年度の研究については、研究分野を「学校経営」「教育課題」の2分野とし、各町校長会が組織的・継続的な共同研究を推進し、教育研究大会をその成果発表の場とする。

○檜山校長会教育研究江差大会での提言

・令和8年10月27日(火)・28日(水) 江差町

・提言 「学校経営」：上ノ国町校長会

「組織マネジメントを生かした学校経営と校長の在り方」

「教育課題」：奥尻町校長会

「教育を取り巻く多様な課題への適切な対応と校長の在り方」

(2) 中学校部会の研究推進

①第1回中学校部会 4月10日 ・役員選出、今年度の研修計画について

②第2回中学校部会 7月10日 ・協議、情報交流

③第3回中学校部会 10月28日 ・協議、情報交流

(3) 中学校・高等学校合同の研究推進

○令和8年度檜山管内中学校・高等学校連絡協議会研究大会経営部会での提言

・令和8年11月5日(木) 江差町

・提言者 奥尻町立奥尻中学校長 佐藤智也

4 研究推進計画

4月10日	檜山校長会総会研修会、第1回中学校部会
5月	第1回研修部会
7月	第2回研修部会（上旬）、第2回中学校部会（10日）
9月25～26日	道中研究大会函館大会
10月15～16日	全日中研究協議会長野大会
27～28日	檜山校長会教育研究江差大会、第3回中学校部会
11月5日	檜山管内中学校・高等学校連絡協議会研究大会経営部会
2月	第3回研修部会（上旬）

※研修部会については必要に応じて随時開催する。

5 研究組織

- ・研修体制（檜山校長会研修部）
部長：西山 恭史（せたな町立北檜山中学校）
副部長：木村 一夫（奥尻町立奥尻小学校）
事務局：岡 健（厚沢部町立厚沢部中学校）
- ・研修部会（檜山校長会中学校部会）
担当：村田（今金中）・岡（厚沢部中）・関田（乙部中）・桜庭（上ノ国中）
令和9年度全日中研究協議会東京大会提言プロジェクト会議（第3分科会）
提言「よりよく生きようとする意思や能力を育む道德教育の充実」

6 その他